

暮らしに役立つ情報満載!



住まいのニュース

2024
3
vol.160

今月の特集

暮らしにちょうどいいコンパクトな家

一人暮らしや子どものいない夫婦、子どもや親と同居する3人家族など、世帯構成人数の減少が進み、日本では、3人までの世帯が8割を超える少人数世帯が中心となったいま、暮らしに合ったコンパクトな家への注目度が増しています。

経済性だけでなく コンパクトな家のメリット

コンパクトな家(=狭小住宅)には、明確な定義はありませんが、一般的には、概ね15坪(50㎡)以下の土地に建てられる住宅のことを指します。コンパクトな家というと、狭くて不便なイメージがあるかもしれませんが、実はそんなことはありません。コンパクトな家には、暮らしやすさや経済性など、多くのメリットがあります。

まず、コンパクトな家の魅力としては、経済性が挙げられます。コンパクトな家は広い家に比べて建築費や固定資産税が安く済むことはもちろんですが、それだけではありません。空間が狭いことから、冷暖房の光熱費も抑えられるというメリットもあります。さらには、床や壁の面積が少ないため、掃除やメンテナンスも楽になり、掃除時間や掃除用品の消費量も減ります。また、修繕やリフォームの費用も安く済むなど、さまざまなメリットがあります。

次に、コンパクトな家の魅力としては、シンプルな暮らしができることです。コンパクトな家では、必要最低限のものだけを持つことが求められます。物を減らすことで、物への執着心も減り、自分に本当に必要なものや大切なものを見つめ直すき

かけにもなり、シンプルで豊かな暮らしができるというライフスタイルにも魅力があります。

さらに、コンパクトな家の魅力としては、環境に優しいことです。建築時に必要な資材や廃棄物も減らすことができるため、地球温暖化や資源枯渇の問題に対する貢献度も高くなります。

空間の使い方で コンパクトな家を快適に

一方で、コンパクトな家には注意点もあります。特に空間の使い方には工夫が必要です。コンパクトな家では、プライベートスペースや収納スペースが不足しがちです。そのため、圧迫感や生活感が出やすくなります。また、家族構成やライフスタイルの

変化に対応しにくい場合もあります。そこで、コンパクトな家を建てる時には、間仕切りを少なくしたり、吹き抜けや窓を多くしたりすることで、開放感や明るさを出すことを心がけること。また、収納スペースを増やしたり、多目的に使える家具を選んだりすることで、効率的に物を収める工夫が必要です。「FPの家」は、FP工法という独自のウレタン断熱パネルを使用する工法を採用しているため、高い住宅性能はもとより、自由度の高いデザインを実現することができる注文住宅です。ロフトや吹き抜けも思いのままに、部屋のすみずみまで快適な空間を作り出すことができる「FPの家」で、自分だけのオリジナルでコンパクトな家づくりをしてみませんか。



住まいの知恵袋

建坪



注文住宅の情報収集をしていると、よく見聞きする「建坪」という言葉。実は、実際の定義が決まっておらず、建築基準法にも「建坪」という言葉は使用されていません。ですが、一般的には、床面積の合計と捉えられています。ただし、工務

店や住宅メーカーによって捉え方が若干異なるので注意が必要です。いっぽう、建坪と似た言葉に「建築面積」や「建ぺい率」がありますが、建築面積は、建物の外壁や柱などを含めた面積のこと。建ぺい率は、敷地面積に対する建物の建築面積が占める割合を指す言葉で、建坪と違い、どちらも建築基準法で使われる正式用語となります。よって、建坪の話聞いた時には、大まかな参考程度にとどめておくようにしましょう。

\\てきた!! 簡単DIY

ベランダのDIY アイディア



ベランダは、自分の好きなものに囲まれてリラックスできる場所にしたいですよね。植物を置くときは、高さや色をバランスよく考えましょう。例えば、高い植物は壁際に、低い植物は手すりに沿って配置すると、視界が広がります。色

は、白や緑などの落ち着いた色を基調にして、赤や黄色などのポップな色をアクセントにすると、明るく華やかな雰囲気になりますよ。植物の鉢や花瓶は、ペットボトルや空き缶などのリサイクル素材を使うと手軽でコストもかかりません。ペットボトルは切って穴を開けて土を入れれば鉢になりますし、空き缶はペイントやラッピングペーパーでデコレーションすれば花瓶になります。ぜひ参考にしてみてくださいね。

お金の豆知識

マイナス金利

経済の活性化やデフレ脱却を目的に、2016年に導入されたマイナス金利政策。銀行が中央銀行に預ける際に支払う利息をマイナスにすることで、銀行は預金を減らして貸し出しを増やし、経済を活性化させるという効果が期待されています。しかし、国債発行による財政悪化や、物価上昇のリスクも指摘されています。



暮らしの1ポイント

春のインテリア



春のインテリアコーディネートポイントは色と素材。パステルカラーやフレッシュなグリーンなど、明るくやわらかい色を選ぶと良いでしょう。木や竹、リネンなど、自然素材を取り入れると、春を感じられます。また、花は春のインテリアに欠かせないアイテム。生花はもちろん、ドライフラワーなども活用しましょう。

おしえて!

Dr.住まい

クローゼットの収納術

クローゼット収納のコツは、上・中・下の空間を効率的に使い分けること。上段はシーズンオフのものや使用頻度の低いもの、軽くてかさばるものを中心に収納。中段はパイプハンガーを活用してオンシーズンの洋服を吊るして取り出しやすく。下段は下着などを衣装ケースで整理したり、重いものを置きましょう。

